主な仕様・定格

ドライバー	低域 中域 } 同軸 高域	255 mm 120 mm ラミネート・コア 19 mm アルミ・ドーム
周波数特性		29 Hz ～ 21 kHz（±1 dB）
ミュージック・パワー（1 m にて）		≧ 123 dB SPL
最大出力音圧レベル（100 Hz ～ 3 kHz 正弦波、音響軸上 1 m にて）		≧ 113 dB SPL
クロスオーバー周波数		490 Hz、3 kHz
ノイズ・レベル（フリーフィールド、音響軸上 1 m にて、A-wtd）		＜ 5 dB SPL
高調波歪 （90 dB SPL、音響軸上 1 m にて）	50 ～ 100 Hz ＞ 100 Hz	＜ 1% ＜ 0.5%
入力信号コネクター	アナログ 10 kΩ バランス AES/EBU（Single/Dual-wire）110 Ω	XLR メス座 × 1 XLR メス座 × 1
出力 / スルー信号コネクター	AES/EBU（Single/Dual-wire）110 Ω	XLR オス座 × 1
デジタル・オーディオ	ワード長 サンプル・レート	16 ～ 24 ビット 32 ～ 192 kHz
コントロール・ネットワーク	タイプ 接続	GLM™ ネットワーク RJ45 × 2、CAT5 ケーブル
GLM™ / GLM.SE™ ソフトウェア周波数特性調整 *	ノッチ・フィルター シェルビング・フィルター	LF × 4 及び HF × 2 LF × 2 及び HF × 2
システム・キャリブレーション *		AutoCal™、スタンドアローン
アンプ出力パワー （長期連続出力パワーはドライバー保護回路によって制限されます）	低域 中域 高域	150 W 120 W 120 W
電源		AC 100 V、50/60 Hz 330 W（アイドル時 26 W）
寸法	高さ（Iso-Pod ™ 非使用／使用） 幅 奥行き	570 mm ／ 593 mm 358 mm 344 mm
重量		27.5 kg
オプション	8200-601B GLM PC 制御ソフトウェア・パッケージ（右記参照） 8200-602 GLM マルチルーム拡張キット（右記参照） 8260-414B ウォール・マウント金具（下図参照） 8260-415B フロア・スタンド（下図参照） 8260-450B スタンド固定プレート（下図参照）	

*）ノッチ及びシェルビング・フィルター調整ならびに AutoCal ™システム・キャリブレーション機能は Genelec Loudspeaker Manager（GLM™）ソフトウェアの一部です。

8260A のリア・パネルには壁に固定するためのオプション金具を取り付けるねじ孔が用意されており、自由度の高い設置に対応できます。

ウォール・マウント金具［8260-414B］

スタンド固定プレート［8260-450B］

フロア・スタンド［8260-415B］

GLM ™ソフトウェア・パッケージ［8200-601B］

AutoCal™

GLM ™（Genelec Loudspeaker Manager ™）ソフトウェアはネットワーク上の全スピーカー（30 台まで）との接続をケーブル接続とラベル付けからスピーカーの定義まで管理します。標準的なシステム・コンフィギュレーションが提供されていますし、カスタム構成のためのユーザー・セットアップも行えます。全機能と設定はこのセットアップに保存され、あるいは、ネットワークを外して PC（GLM ™）なしでモニタリング・システムを運用したい場合はこのデータを各スピーカー内に保存することもできます。

対応オペレーティング・システム	Windows XP、Vista、Mac OS X 10.4 またはそれ以降 *
対応スピーカー数	30
対応オーディオ・チャンネル数	24（AES/EBU シングルワイヤー） 12（アナログ、AES/EBU デュアルワイヤー）
システム・キャリブレーション	AutoCal ™、GLM ™ によるマニュアル調整可能
パッケージ内容	GLM ™ ネットワーク・インターフェイス・デバイス 8200A キャリブレーション・マイク及びホルダー USB ケーブル 測定信号ケーブル ソフトウェア・インストール CD-ROM 取扱説明書

*）最新のサポート情報は www.genelec.com でご確認願います。

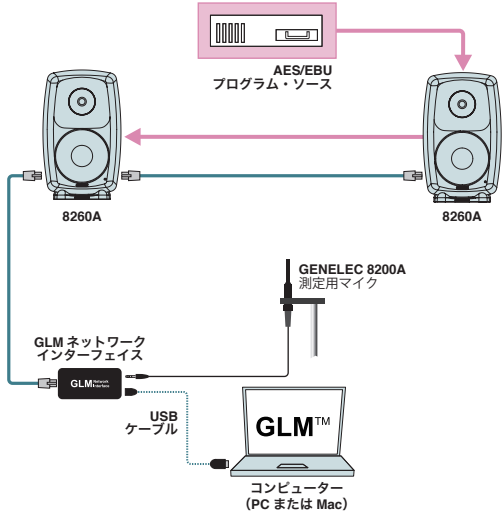
GLM ™ マルチルーム拡張キット［8200-602］

GLM ™（Genelec Loudspeaker Manager ™）ソフトウェアには 1 ルーム分のライセンスが付属しています。施設内の複数の部屋で GLM ™ をお使い頂くにはマルチルーム拡張キットを追加する必要があります。

パッケージ内容	GLM ™ ネットワーク・インターフェイス・デバイス GLM ™ コントロール・ネットワーク・ケーブル USB ケーブル

システム接続例（ステレオ）

GENELEC®

GENELEC日本総代理店
OTARITEC オタリテック株式会社
www.otaritec.co.jp
〒 169-0051 東京都新宿区西早稲田 3-30-16 ／ TEL 03-6457-6021 ／ FAX 03-5285-5281

GENELEC®

8260A Three-Way DSP Loudspeaker System

New テクノロジー MDC ™ 同軸ユニット採用

オタリテック株式会社

8260A 3 ウェイ DSP スピーカー・システム

8260A 3 ウェイ DSP スピーカー・システムは、新開発同軸ユニット MDC ™を基軸に、アコースティック・セクションとエレクトロニクス・セクションを連携して高度な改良が加えられた画期的な製品です。この MDC ™の採用により、理想のモニター・スピーカーとしての音質を実現する上で大きな進化をもたらすことができました。そして、GENELEC の基幹技術である DCW ™のコンセプトである音響指向特性の改善に MDC ™は大きく貢献しております。さらに、MDE ™なるエンクロージャー形状が音響回折を減少させ、万全なアコースティック・セクション完成させました。さらに、エレクトロニクス・セクションでは DSP デバイスを使用し、デジタル領域で EQ、ディレイ、帯域分割など適切なプロセッシング制御を行っています。これらのノウハウは、GENELEC が 30 年以上にわたって培った経験に基づいています。非常にフラットな周波数特性が達成できたことで、抜群の明瞭度が得られ、同軸の音像定位の良さも加わって再生する音楽自体の繊細なディテールまで細やかに表現できるモニター・スピーカーになりました。

MDC ™ の構造（CG）

8260A の水平音響指向特性

MDC ™ のフロントフェース

8260A の垂直音響指向特性

8260A の周波数特性

MDC ™（Minimum Diffraction Coaxial Mid/High Driver）

中高域用の同軸ドライバー MDC ™ は、バッフル面との段差を排除し、ツイーターのメタルドームを含めたフラッシュサーフェス化を行って音響回折の要因を一掃しています。まさに広帯域をピンポイント音源として扱うことができる画期的な機構です。もちろん DCW ™ 効果を強力にサポートしています。

進化型 GENELEC DCW ™

GENELEC 伝統のテクノロジー DCW ™（Directivity Control Waveguide ™）は、初採用の MDC ™との融合で大きなシナジー効果を発揮しました。490 Hz 以上という今までにない広い帯域での音響指向特性の制御を一括集中管理することで部屋の音響反射による影響を最小限にとどめられます。

MDE ™（Minimum Diffraction Enclosure）

8000 シリーズでその優位性を実証した MDE ™ は最適化されたラウンドエッジ形状を持つ筐体で、音響回折の低減によって周波数特性を改善し、リアルな音像定位を実現しています。さらに、アルミダイキャスト素材の高剛性構造を実現したこのエンクロージャーは音の滲みの原因となる箱鳴きが抑えられています。

パワフルな低域特性

3 ウェイのメリットを活かした口径 255 mm のウーファー・ユニットは、高能率バスレフポートや吟味されたアンプ回路を含めて絶妙なチューニングが施されており、ローエンドは 26 Hz（-3 dB）までフラットに伸びています。もちろん中高域とのつながりも万全です。サブウーファーによる低域補強も不要です（5.1 サラウンドでの LFE チャンネル用には 7271A を推奨します）。

Iso-Pod ™（Isolation Positioner/Decoupler）

8260A 底部に取り付け可能な標準付属ラバー・スタンド Iso-Pod ™ は、音響軸をリスナーの耳に合わせるために角度調整する機能の他に、エンクロージャーの振動がスピーカーを載せている表面に伝わるのを遮断して音の濁り感をなくす効果があります。

GLM 測定用マイク

インテリジェント制御 GLM ™を継承

従来型の 8200/7200 DSP モニタリング・シリーズでサポートされていた GLM ™（Genelec Loudspeaker Manager）による専用ネットワーク制御機能は、この 8260A も互換継承されています。

具体的には、モニター・レベル、ソロ / ミュートの制御機能の他に、AutoCal ™ による DSP ベースのノッチ / シェルビング・フィルター、ディレイ、レベルなどの音響補正を含めた高度なオートアライメント機能です。GLM ™ は、従来の 8200/7200 DSP モニタリング・シリーズと 8260A を同一システム内で同時に制御できます。もちろん 7200 サブウーファー・シリーズとの併用も問題なく可能です。また、3 ウェイ化に対応するためにフィルターのバンド数は、ノッチ・フィルター 6 バンド、低域シェルビング・フィルターが 2 バンド、高域シェルビング･フィルターが 2 バンドの合計 10 バンドに増えました（8240A/8250A は 8 バンド）。これにより、さらに精度の高い音響補正が可能になっています。このようにパワフルなデジタル・クロスオーバー回路を持つ 8260A が加わったことで、GENELEC DSP モニタリング・システムの用途はサラウンド・モニターをはじめ、さらに多様な環境に広がりました。

8260A のコネクター及びコントロール類

8260A 背面インターフェイス部